

# クローズアップ NGO・NPO

特定非営利活動法人 ヤム! ヤム! ソウル スープ キッチン Yum! Yam! SOUL SOUP KITCHEN 代表理事 西田 誠治

**日本列島47都道府県 meets タイ王国77県!**  
日タイ両国のローカルエリア同士を万国共通の「食」を通じて新たにつなぐ、独自のコンセプトによるプラットフォームの創造を通じて社会貢献を行う。

## 日本初! タイ料理を通じて「食の地域活性化×国際文化交流活動」を行うNPO法人です。

Yum! Yam! SOUL SOUP KITCHEN (ヤム! ヤム! ソウルスープ キッチン) は、タイ料理を中心にした斬新なコンセプトで全国47都道府県それぞれにフォーカスを当て、全国各地(東京、地方)で定期的に開催する食のシリーズイベントの企画運営を主体とした、各地の生産者や生産団体、行政機関など、食に関わる人々の新たな販路展開支援を中心に幅広くサポートを行う法人として、日タイ両国を舞台に活動を展開しています。



イベント開催風景。毎回総勢70名ほどのゲスト、生産者、行政関係者が一体となり、テーマ県の旬の食材をふんだんに使ったオリジナルタイ料理を楽しむことで、日タイ両国の地方へ新たに関心を寄せるきっかけになっています。

## 日本全国の郷土料理や特産品、旬の地場食材と、本格タイ料理とのコラボレーション!

世界的に人気が高く、特に女性ファンの多いタイ料理と、全国各地の郷土料理やその土地でしか採れない希少食材などの日本固有の食文化から発想し、大胆にコラボレーションするという、独自のプロデュース視点を活かした活動を通じて、全国で想いを持ってものづくりに取り組んでおられ

る生産者や食材そのものにフォーカスを当て、連続シリーズで紹介しています。

毎回、テーマをもってタイ料理を通じて全国の食の可能性を新たに引き出しています。ゲストのみなさまに味わっていただく数々のオリジナルレシピ開発を通じて、日本とタイそれぞれの新たな情報発信や、両国の地方活性化を推進していくことを目指しています。

## なぜタイなのか? ユニークな活動の背景に両国の見えない結びつきを活かした独自の視点があります。

この発想の発端には、タイ各地を旅し、食を中心にしたさまざまな独自の経験を重ねてきたこと(東京都内のタイ料理レストラン<sup>ちゅうぼう</sup>厨房で3年間の調理経験)や、全国各地で目の当たりにしてきた地方都市の衰退化や過疎化、伝統文化の継承問題などがあります。あえて外のものとは結びつけることで隠れた共通項を見だし、新たな可能性を生み出すことが、この危機的な状況を打破できる一つのきっかけにつながるのではないかと。その発想の過程でタイ料理の持つ大きな可能性を感じました。

タイはアジア各国の中でも、日本人や日本文化に対しリスpekトの気持ちが生きる、数少ない親日国の一つであり、歴史問題など関係を阻害する要因がありません。また、バンコクを中心に4万人を超える在住邦人が暮らしており、日本の食や情報が常に求められている背景があります。タイ国内でも日本料理を出すレストランやラーメン店な

どが急増しており、タイの経済発展とともに日本食の浸透やファン層の拡大が進んだ結果、世界的に見ても特に日本寄りの市場が出来上がりつつあり、今後も大きな可能性を持った国だと思えます。

## どうつながるのか？ 食の共通項を見つけることで両国のローカル同士が手をむすび、動き出します。

例えば、タイ料理で欠かせない調味料のナンプラー。日本でも同様の魚<sup>ぎょしょう</sup>醤発酵調味料のしょっつる、いしり等が、北陸東北地方を中心に伝統的に使われており、泡盛とタイ米の関係、味噌や醤油も北と南では微妙に味わいや好み異なります。同様にタイ料理もただ辛いのではなく、ロケーションによって辛さの質が変わり、使う食材もさまざまに変化します。

このような視点で両国を見比べていくと、全く結びつかないと思われながらも、実はさまざまな食の共通項が見いだされることに気づきます。既存の大きなつながりである観光立国としての東京～バンコクのような結びつきでは、逆に観光資源が少なく印象に欠ける県は情報発信や観光誘致に長年苦戦しており、企画をきっかけに両国の地方都市同士が食を切り口に新たにつながり、新規の情報発信のための機会創出が期待できるのです。



オリジナルメニューの一例／ホタルイカと大豆のヤム“ヤム・プラムック”。2012年3月開催のvol.04富山県ver.では、富山湾の旬の新鮮ホタルイカと富山市の農家・西島守さんの有機大豆を合わせてレシピを提案しました。

## 全国イベントを核にしてムーブメントを起こし、日タイを新たに食でつなぐプラットフォームへ。

万国共通の食を通じた「地方活性化活動&国際文化交流」として、47都道府県の旬の地場食材を使ったオリジナルレシピのタイ料理イベント、

Yum! Yam! SOUL SOUP KITCHENを日本初の47回シリーズイベントとして独自に企画主催しています。人々に食について考えるきっかけを提供し関心を高め、日本を含めたアジアの食のつながりや交流を促します。

マニア向けの閉ざされた視点ではなく、グローバルに世界へ開かれた日タイのつながりの醸成や、同じアジア

のお米を中心とした食文化をもつ友好国同士の関係を活かし、共に発展できる豊かな関係を実現することを目指しています。



我々の活動に賛同いただいている協賛企業の一社、タイ国産ワインの製造販売を行っているSiam Winery社（タイ・ホアヒン）。日本へ紹介するにあたり、生産現場の取材視察を行いました。

## 活動にご賛同いただける方の積極的な参加、サポートをお願いいたします。

今年3月初旬にYum! Yam! SOUL SOUP KITCHEN@Thailandを、タイ・バンコクにて特別開催します。タイマーケット進出に意欲のある生産者と自治体関係者を食材とともにタイへご案内し、現地の熱気を体感してもらいながら、日本からのイベントゲスト、タイ人、在住邦人、現地飲食関係者を中心にわれわれの活動に関心のあるゲストを広く募集し、日本で開催しているイベントをそのまま持ち込み、現地開催します。

われわれの目指す社会貢献活動に弾みをつけるためにも、活動趣旨にご賛同いただける皆さまのさまざまなご協力・ご支援を必要としています。

日タイ双方の食のマーケットの新たな創造や、農業をとりまく未来の可能性を自ら切り開くこと、地方観光の活性化（インバウンド、アウトバウンド）、新たな雇用の創出などに幅広く関心の高い支援者を広く募集いたします。ご理解・ご協力を心からお願いいたします。そして、われわれのユニークな国際交流活動が作り出す今後の展開にご期待ください。